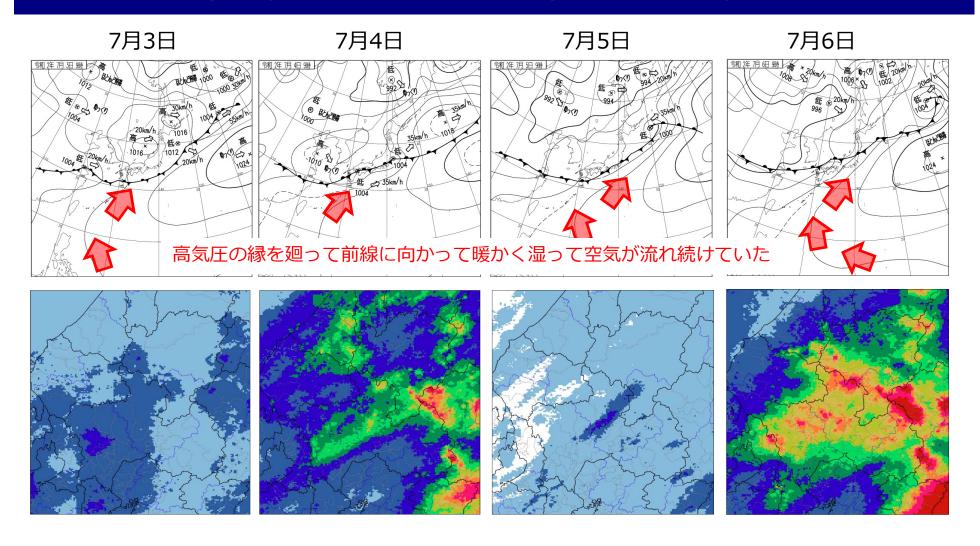
令和2年8月7日

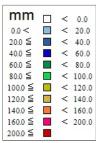
令和2年7月豪雨_気象概要 (2020.7.3-7.14)

- ・2020年7月3日~14日の気象概況
- ・大雨をもたらした気象要因
 - ~長期間にわたる大雨に関連した大規模な大気の流れ~
- · 防災気象情報発表状況
- ・気象台が執った措置
- ・平成30年7月豪雨と令和2年7月豪雨

地上天気図(9時)と日別解析雨量(24時間積算)

その1

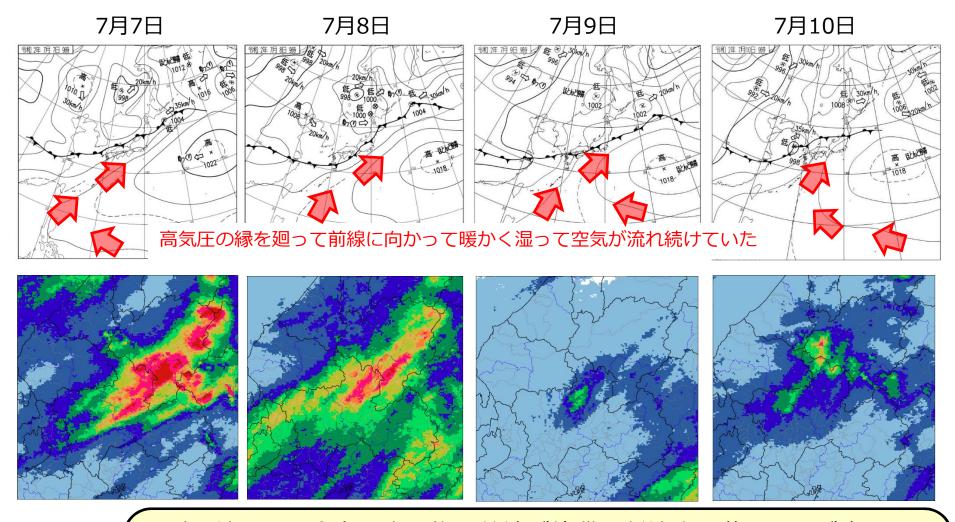


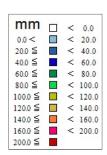


- ・3日、梅雨前線上の低気圧が西日本から接近し4日にかけて通過。
- ・その後、5日夜から前線が北上し、日本海沿岸に停滞。
- ・6日は前線に向かって湿った空気が流れ込み、 分水嶺付近や西濃山地を中心に日降水量が100ミリ以上の雨を解析。

地上天気図(9時)と日別解析雨量(24時間積算)

その2

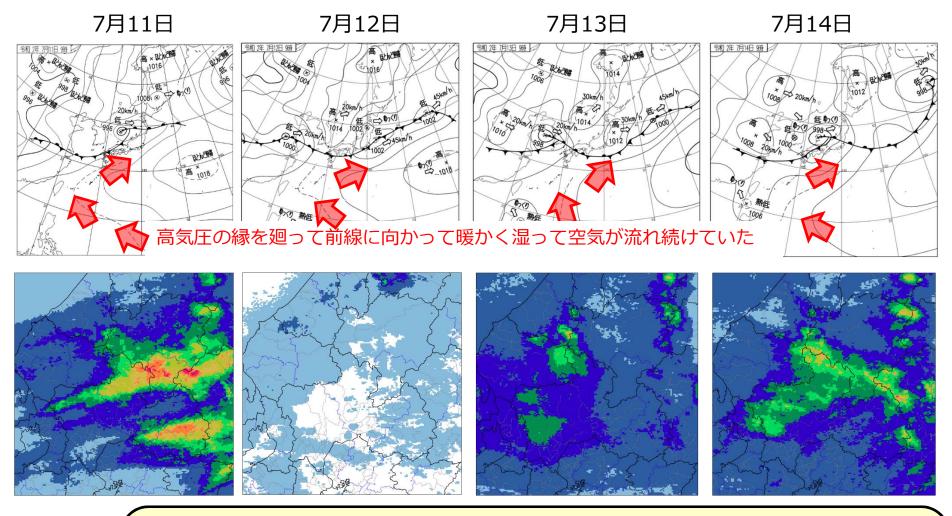


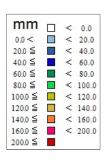


- ・引き続き、日本海沿岸に梅雨前線が停滞し断続的に激しい雨が降った。
- ・特に7日夜からは前線に向かって暖かく湿った空気の流れ込みが強まり、 中濃から飛騨地方を中心に断続的に非常に激しい雨となった。
- ・8日06時30分、災害の危険度が著しく高まったことから、 飛騨市、高山市、下呂市、郡上市、中津川市、恵那市に大雨特別警報を発表。

地上天気図(9時)と日別解析雨量(24時間積算)

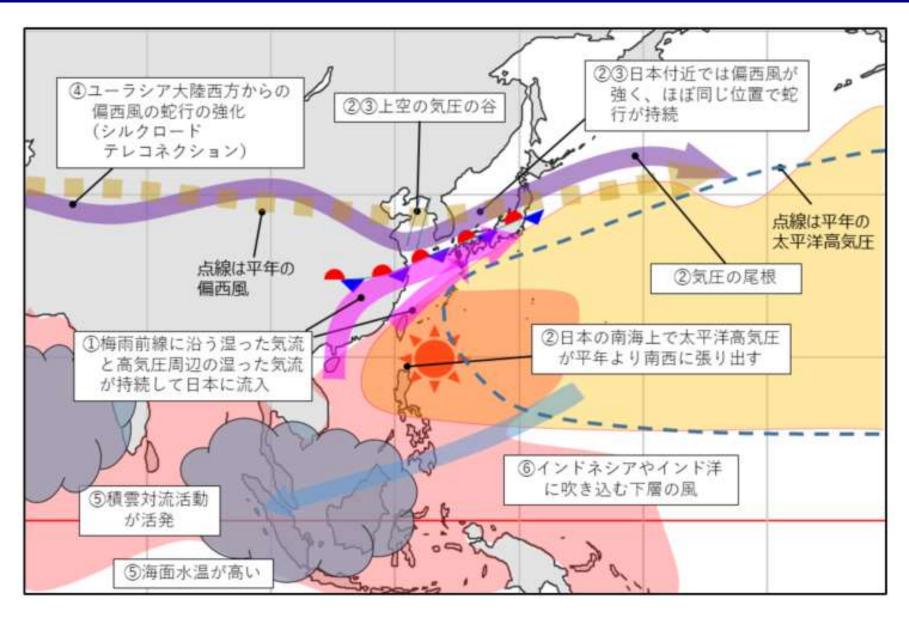
その3





- ・11日、前線上を低気圧が東進し湿った空気の流れ込みが強まったため、 中濃地方から飛騨地方では激しい雨が降り、夕方から夜は東濃地方を 中心に非常に激しい雨となり大雨となった。
- ・12日から13日午前中は前線の活動が弱まり雨は小康状態となった。
- ・再び13日午後から14日は、前線上を低気圧が東進し大雨となった。

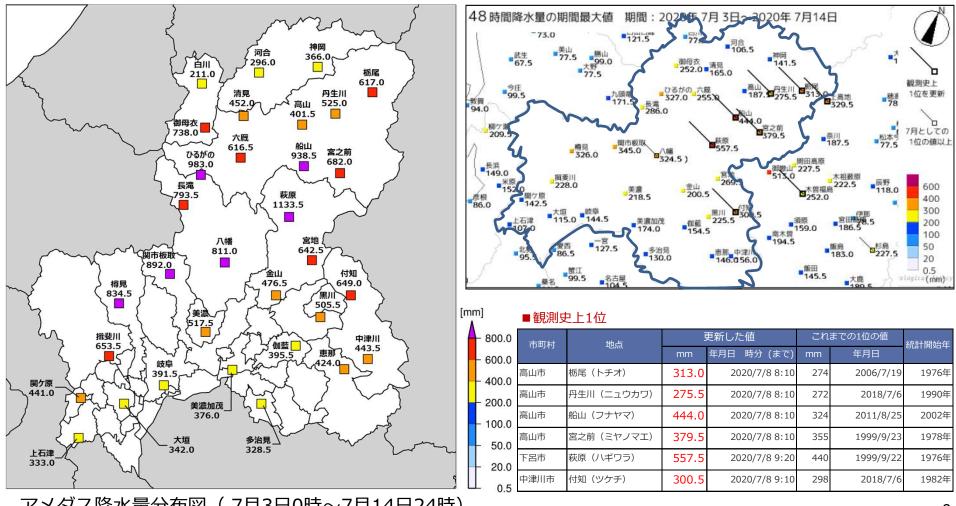
大雨をもたらした気象要因



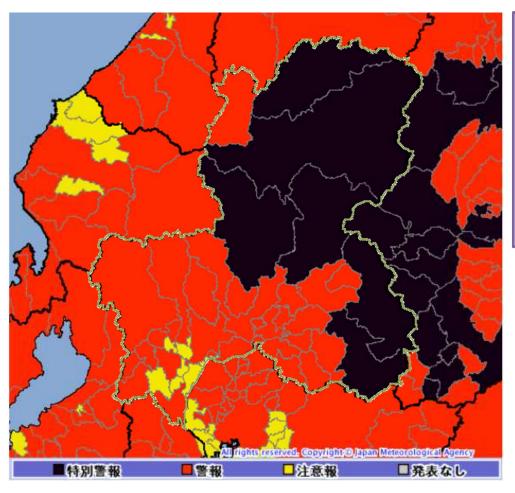
長期間にわたる大雨に関連した大規模な大気の流れ

令和2年7月3日~14日の総降水量と極値更新状況

今期間の降水量は、各地で300ミリ以上の雨を観測し、 48時間降水量の期間最大では、6地点で観測史上1位を更新する大雨となった。 特に、下呂市にあるアメダス萩原では、7月の月降水量の平年値(401.3ミリ)の 約2.8倍の1133.5ミリを観測する記録的な大雨となった。



大雨特別警報の発表状況



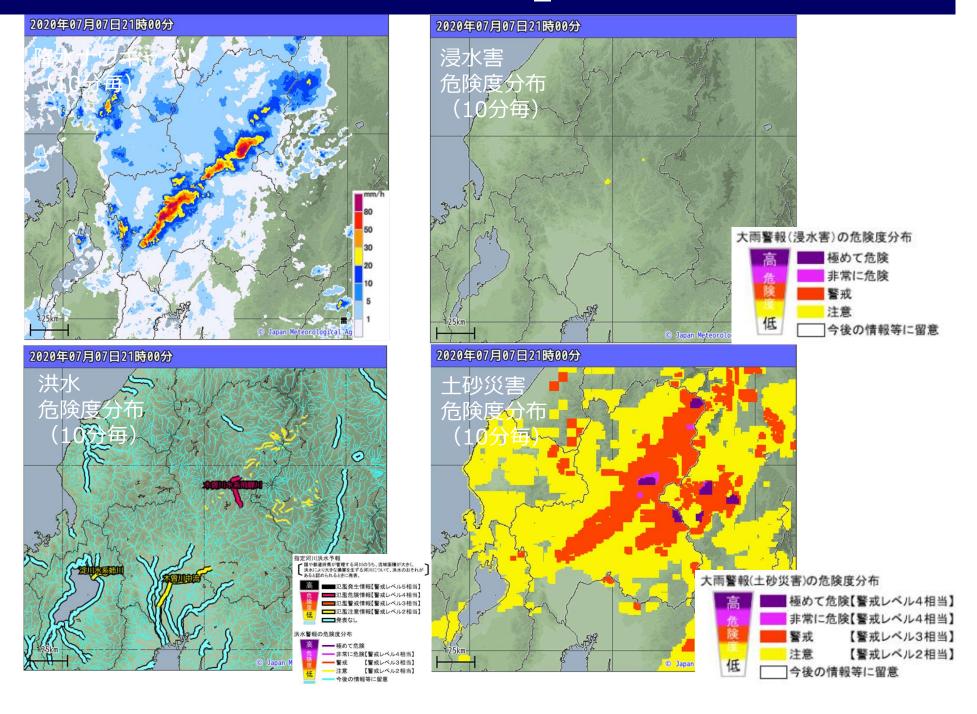
発表市町村

飛騨市、高山市 郡上市、下呂市 中津川市、恵那市

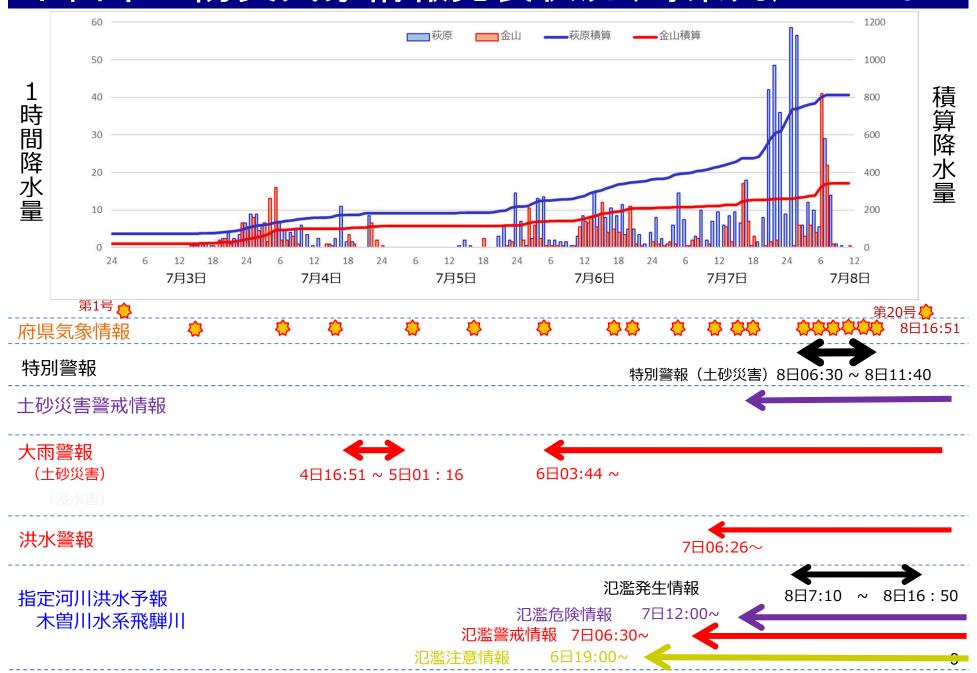
大雨・洪水	
■ 大雨特別警報	警戒レベル5相当
■ 土砂災害警戒情報	警戒レベル4相当
■ 大雨警報・洪水警報	警戒レベル3相当
□ 大雨注意報・洪水注意報	警戒レベル2

7月8日06時30分 災害発生の危険度が高まっている6市に発表

降水ナウキャストと危険度分布(動画_7月7日21時00分~8日09時50分)



下呂市の防災気象情報発表状況(時系列)3~8日まで



岐阜地方気象台が執った措置

21回

(1) 県及び市町村への支援状況(7月3日~14日)

- ・防災メール(大雨に関する解説資料)
- ・電話による問い合わせ及び気象台からの情報提供 204回
- ・防災責任者ホットライン 9回
- 首長ホットライン 13回
- ・岐阜県本部員会議での解説 5回

(2) 国の地方出先機関等への支援状況(7月3日~14日)

・防災メール(大雨に関する解説資料) 21回

(3) 岐阜地方気象台の体制等(7月3日~14日)

- ・7月4日05時21分 注意体制
- ・7月6日18時00分 警戒体制
- ・7月8日06時30分 非常体制

(4)JETT(気象庁防災対応支援チーム)派遣

- ・7/8 八百津町にJMA-MOT(気象庁機動調査班)を兼ねて4名派遣(巡回)
- ・7/9 高山市、下呂市、白川町に2名派遣(巡回)
- ・7/10 下呂市、郡上市へ3名派遣
- ・7/10 下呂市へ1名駐在(7/16まで)
- ・7/13 中津川市、恵那市に2名派遣(巡回)
- ・7/16 飛騨市に2名派遣(巡回)

平成30年7月豪雨と令和2年7月豪雨

